

「開校記念集会」

特別活動部 保坂 司

赤坂小学校の開校記念日は10月30日ですが、それに先立ち、児童集会として毎年、「開校記念集会」を行っています。運営委員会による赤坂小の歴史を題材にした劇やクイズなどを発表したり、6年生による威臨太鼓を演奏したりと、30分程度の集会ですが、内容は盛りだくさんで濃いものになっています。本来なら、地域の方たちや保護者の皆さんをご招待すべきなのですが、昨今の事情でそれができなくなっています。今年度は、1日目に全校放送と動画を使って記念集会を行い、2日目に体育館で威臨太鼓を2回に分けて演奏しました。参観者は6年生の保護者のみとなりました。子供たちが、勝海舟や山田耕筰にゆかりのある赤坂小学校について理解を深め、赤坂小学校に通っていることを誇りに思っているという願いをもって、この集会を行いました。来年度は、地域や保護者の皆様がたくさん参加して、みんなでお祝いできる会になることを心より願っています。

「本物に触れる」

5年担任 関口 由美子

国語科の「たずねびと」は、原爆について描かれた物語文です。そこで、10月12日、小学校6年生の時に被爆され、今は語り部としてご活躍されている森政忠雄さんをお招きし、出前授業を行いました。森政さんは、なぜ戦争は起き、原爆は落とされたのか、被爆した時の状況、見たもの感じたことを丁寧に話してくださいました。その日のうちに書いたお礼の手紙には、「戦争の悲惨さがよく分かった」「もう二度と戦争を起こしてはいけない」「まずは、周りの人を大切に生きていこう」などの言葉が多く見られました。また、春には、昨年度学習した「ユニバーサルデザイン イン 赤坂」の集大成として、「パラリンピック100日前特別授業」を行いました。その時の講師は、3か月後の東京パラリンピックで金メダルを2つも獲得した佐藤友祈選手でした。「夢を叶えるために、決して諦めないこと」「口に出して表現すること」などを教えていただき、大きな刺激を受けました。本物に触れる以上の教材はありません。コロナ禍ではあっても、人生に影響するような本物との出会いを経験してほしいです。

「ふれあい月間」

生活指導部 山田 教美

11月は今年度2回目のふれあい月間です。友達同士のふれあい、学校でのふれあい、ご家庭でのふれあい、地域の方々とのふれあいなど、いろいろな人とのふれあいを通して、やさしさや思いやりについて考えていきます。

人と人のかかわりの中では、気持ちよくあいさつができることが大切です。本校では、あいさつが上手にできる子に育つよう、日頃から指導していますが、10月に引き続き、11月も「あいさつ週間」を行います。今月は、すすんであいさつすることを重点として取り組み、気持ちのよいあいさつがあふれる学校を目指していきます。

ふれあい月間では、あいさつ運動のほかにも、やさしさや思いやりをもち、いじめをしない子、いじめをさせない子、いじめを見逃ごさない子の育成に向けて、様々な取組を行います。11月のふれあい月間の取組については、12月中に、いじめ防止対策日より「WAになって」でお知らせします。